

平成29年度第2回野田市コミュニティバス検討専門委員会議

会 議 次 第

日時 平成29年 8月17日(木)

午後3時から

場所 市役所低層棟4階 職員控室

- 1 開会
- 2 副市長挨拶
- 3 議事
まめバス運行計画見直しについて(資料1)
- 4 閉会

まめバス運行計画の変更案等について

平成 31 年 4 月から新運行計画による運行を行うべく、以下の視点により四つの運行計画案を作成した。

1 まめバス運行のコンセプトの見直し

新たな運行計画については、

「それぞれの生活圏域に合った、より生活に密着した便利なまめバス」をコンセプトとした。

参考

現行のコンセプトは「野田市と関宿町との合併を機に、関宿地域から市役所等の公共施設へのアクセス性を高めるとともに、両市町の公共交通不便地域の改善を図り、新市の一体性の醸成及び均衡ある発展に資する。」

2 現状運行計画の課題

- ・関宿城ルートを除く全てのルートが櫛のホールや市役所等に集中しており、乗り換えずにこれらの施設に行ける反面、まめバスが連なって通過することがあるなど効率が良くない。
- ・要望を多く聞き入れたルートの設定としているため、きめ細かなルートとなっている反面、運行距離が長く、目的地までの乗車時間が掛かり過ぎる。
- ・公共交通不便地域の改善を図る目的を持って運行をしているが、農村部等の一部ルートでは、連続 40 日以上利用客が乗車していなかった所もある。
- ・バス事業者の人件費等が今後も続くと見込まれる中で、運行の上限額を 6,800 万円としたままでは、まめバスの運行は縮小していかざるを得ず、市民サービスが低下し続ける恐れがある。

3 見直しの視点

- ・現状の課題を克服し、生活に密着した利便性の高いルートを設定する。
- ・できるだけ直線的なルートを設定し、目的地までの時間短縮を図る。
- ・利便性向上のため、全ルート土日祝日も運行する。
- ・利便性の向上策に対応するため、運行の上限額の目安を 1 億円とする。

4 今後の検討課題

- ・運賃（料金の水準、障がい者や小学生等の割引制度の必要性等）について、

他団体の状況等も参考にした上で検討

- 継続的な運行を行うためには、市民全体で経費の負担を考えていただくことが重要であることから、その手法について検討（例えば、ルートごとに基準とする収支率を設定し、ルートごとの収支状況を把握・公表することなど）
- まめバスが運行できない地域等（まめバスが運行していても、利用者が少ない地域を含む。）について、まめバス以外の交通手段の確保策を検討
- イベント時の臨時便の運行について、運行の上限額、車両の空き具合等を勘案しつつ検討

4 運行計画見直し案

1) 計画A案<図1>

①各ルートの概要

全体

- 全 11 ルート、平日 134 便、土日祝日 108 便
- 年間運行距離数 618,243 km
- 全ルート土日祝日運行（ただし、土日祝日の便数は縮減）
- いちいのホールから市役所までの急行ルートを新設
- 新たに車両を2台投入
- (経費見込み額)129,833 千円－(収入見込み額)38,627 千円～53,430 千円＝(市支出見込み額) 76,403 千円～91,206 千円<いずれの額も税抜額>

関宿城ルート<緑>

- ルート自体は現行と同じ。片道 15.7 km、41分
- 中戸折り返し便を廃止し、全便関宿城博物館～関宿中央TM間を往復
- 便数は平日8便→12 便（4便増）、土日祝日8便

急行ルート<茶>

- いちいのホール～関宿中央TM～都市計画道路次木古布内線～県道我孫子関宿線～(野田病院)～イオンタウン～国道16号～市役所。片道 18.2 km、55分
- いちいのホール～イオンタウン間は全バス停に停車
- 国道16号にはバス停を設けず、市役所に急行
- 平日10便、土日祝日は8便

北ルート関宿(七光台経由)<赤>

- 現行北ルートを、川間駅を境に関宿方面と野田方面に分割
- 関宿中央TM～いちいのホール～向ノ内～県道我孫子関宿線～(野田病院)～七光台～川間駅南口。片道 13.3 km、40分
- 平日13便、土日祝日は11便

新北ルート<紫>

- 現行新北ルートを、川間駅を境に関宿方面と野田方面に分割
- いちいのホール～向ノ内～県道我孫子関宿線～関宿高入口～関宿総合公園～関宿滑空場入口～江戸川左岸道路～尾崎小前～川間駅南口～イオンタウン。片道 13.9 km、42分
- 平日12便、土日祝日は10便

北ルート清水<青>

- 現行北ルートを、川間駅を境に関宿方面と野田方面に分割

- ・イオンタウン～川間駅南口～プラタナス通り～岩名中前～総合公園～清水公園駅～清水中～櫨のホール～愛宕駅～市役所。片道 11.1 km、37 分
- ・平日 14 便、土日祝日は 12 便

北ルート堤台<黄緑>

- ・野田地域において、現行新北ルートと現行中ルートの国道 16 号西側ルートを融合した循環ルート
- ・市役所～一中前～清水公園駅東口～吉春上～県道結城野田線～北部幼稚園前～イオンタウン～川間駅南口～七光台駅～桜の里 2 丁目～都市計画道路山崎吉春線～櫨のホール～愛宕駅～市役所。1 周 18.4 km、61 分
- ・平日 9 便、土日祝日は 7 便

中ルート<ピンク>

- ・野田地域において、現行中ルートと北ルート堤台経由を融合
- ・市役所～愛宕駅～上町～櫨のホール～都市計画道路山崎吉春線～プラタナス通り～川間駅南口～イオンタウン～田端～堆肥センター入口～県道我孫子関宿線～目吹前口道路～東部小前～野田特別支援学校前～小張病院前～市役所。1 周 21.6 km、65 分
- ・平日 9 便、土日祝日は 7 便

南ルート中根<水>

- ・現行南ルートを細分化
- ・市役所～旧日光街道～二中前～流山街道～桜木神社入口～旧日光街道～梅郷駅～都市計画道路梅郷西駅前線～みずき 4 丁目公園～流山街道～島会館入口～緑ヶ丘公園。片道 11.3 km、38 分
- ・平日 12 便、土日祝日は 10 便

南ルート愛宕駅<緑>

- ・現行南ルートを細分化
- ・市役所～愛宕駅～上町～流山街道～梅郷駅～ハローワーク野田～みずき 4 丁目公園～西新田自治会館前。片道 9.5 km、30 分
- ・平日 16 便、土日祝日は 14 便

南ルート大殿井<こげ茶>

- ・現行南ルートを細分化
- ・市役所～旧日光街道～大殿井～電建第一住宅～老人福祉センター。片道 6.7 km、23 分
- ・平日 18 便、土日祝日は 16 便

新南ルート<紫>

- ・現行新南ルートと南ルートを融合した循環ルート
- ・大利根温泉～スポーツ公園～福田保育所入口～木野崎入口～野田市駅～

市役所～愛宕駅～辻前～櫛のホール～琴平通り入口～上花輪・今上地区
～梅郷駅～流山街道～島会館入口～老人福祉センター～大根温泉。1
周 28 km、93 分

- 平日9便、土日祝日は5便

②A案の特長

- 全ルート土日祝日も運行することにより、利便性を向上
- 関宿城ルートは、観光客も意識して増便しつつ、全便を関宿城博物館まで運行
- 急行便を設定し、いちいのホールから市役所までの所要時間を短縮
- 関宿地域について、増便により利便性を向上（一部区間を除く。）。
- 各ルート、イオンタウン、川間駅南口への乗り入れを充実させ、買物や通院、電車の利用者の利便性を向上
- 特に、イオンタウンには、新たに関宿岡田地区や野田東金野井地区方面からのアクセスを確保し、当該地区の利便性を一層向上
- 中ルートについては、船形方面からの川間駅へのアクセスを新たに確保
- 南ルート愛宕駅について、現行ルートを分割することにより、平成やよい通りと二中前通りのジグザグ運行をしないルートを設定し、目的地までの所要時間を短縮
- 一方で、南ルート中根ルートによるジグザグ運行ルートも残しつつ、回り方を見直すことにより、目的地までの所要時間を短縮
- 新南ルートについては、現行南ルートと新南ルートを融合することにより、効率化を図りつつ、地域に見合った便数を確保。また、現行の経由便を廃止したことにより、今上地区、花井地区ともに大幅な増便を実現
- ノア、いなげや、梅郷駅へのアクセスを充実させることにより、買物や通院、電車の利用者の利便性を向上

③A案の懸念事項等

- 関宿地域について、現行北ルートの現在の利用状況を見ると、川間駅への利用者が多いところ、A案では、砂南（関宿）～木戸口（野田）間からの川間駅へのアクセスが悪化する（26便→13便：13便の減便）。
- 現行ルートとの比較において、廃止した区間、減便した区間についての考え方は、別添資料 1-1 のとおり。

2) 計画A2案<図2>

①各ルートの概要

全体

A案を基に、

- ・急行ルートを老人福祉センターまで延伸
- ・車両1台を投入し、北ルート関宿（イオンタウン経由）を新設
- ・全11ルート、平日126便、土日祝日94便
- ・年間運行距離数 621,788km
- ・(経費見込み額)130,531千円-(収入見込み額)33,024千円~48,850千円=(市支出見込み額)81,681千円~97,507千円<いずれの額も税抜額>

関宿城ルート<緑>

- ・A案に同じ。
- ・平日12便、土日祝日8便

急行ルート<茶>

- ・いちいのホール~関宿中央TM~都市計画道路次木古布内線~県道我孫子関宿線~(野田病院)~国道16号~市役所~旧日光街道~大殿井~電建第一住宅~老人福祉センター。22.6km、片道70分
- ・いちいのホール~葵の園前(又は野田病院)間及び市役所~老人福祉センター間は全バス停に停車
- ・国道16号にはバス停を設けず、市役所に急行
- ・平日8便、土日祝日は6便

北ルート関宿(七光台経由)<赤>

- ・A案に同じ。
- ・平日13便、土日祝日11便

北ルート関宿(イオンタウン経由)<赤(白抜き)>

- ・関宿中央TM~いちいのホール~向ノ内~県道我孫子関宿線~(野田病院)~イオンタウン~川間駅南口。片道14.0km、42分
- ・平日12便、土日祝日は10便

新北ルート<紫>

- ・A案に同じ。
- ・平日12便、土日祝日は8便(A案比△2便)

北ルート清水<青>

- ・A案に同じ。
- ・平日14便、土日祝日12便

北ルート堤台<黄緑>

- ・ A案に同じ。
- ・ 平日9便、土日祝日は7便

中ルート<ピンク>

- ・ A案に同じ。
- ・ 平日9便、土日祝日は5便（A案比△2便）

南ルート中根<水>

- ・ A案に同じ。
- ・ 平日12便、土日祝日は10便

南ルート愛宕駅<緑>

- ・ A案に同じ。
- ・ 平日16便、土日祝日は12便（A案比△2便）

南ルート大殿井<ルート設定せず>

- ・ 当該ルートに代え、急行便を老人福祉センターまで延伸

新南ルート<紫>

- ・ A案に同じ。
- ・ 平日9便、土日祝日は5便

②A2案の特長

A案に加え、

- ・ 急行便のルートの一部変更し、イオンタウンを経由しないことで、いちいのホールから市役所までの所要時間を一層短縮
- ・ さらに、いちいのホールから老人福祉センターまで乗り換えなしで行くことができるようになり、関宿地域から、こうのとりの里へのアクセスを向上
- ・ 北ルート関宿（イオンタウン経由）を設定することにより、関宿地域（特に砂南～木戸口間）からのイオンタウン利用に配慮しつつ、川間駅南口への乗り入れを充実させ、買物や通院、電車の利用者の利便性を向上

③A2案の懸念事項等

- ・ A案に比して北部・関宿地域の利便性に配慮した結果、特に、みどり橋～梅郷11号公園間について、現行16便の運行が8便の運行になる。
- ・ しかしながら、これらの地域には周辺に利用可能なバス停がある、あるいは、利用可能な路線バスが運行しているなど、利便性は確保されていると考える。
- ・ その他、減便した区間についての考え方は、別添資料1-2のとおり。

3) 計画B案<図3>

①各ルートの概要

全体

- 全 11 ルート、平日 109 便、土日祝日 84 便
- 年間運行距離数 621,591 km
- 全ルート土日祝日運行（ただし、土日祝日の便数は縮減）
- 関宿中央TMから市役所までの急行ルートを新設
- 新たに車両を2台投入
- (経費見込み額)130,492 千円－(収入見込み額)28,673 千円～41,510 千円＝(市支出見込み額) 88,982 千円～101,819 千円<いずれの額も税抜額>

関宿城ルート<緑>

- A案に同じ。
- 便数は平日 12 便、土日祝日 8 便

急行ルート<茶>

- 関宿中央TM～いちいのホール～向ノ内～県道我孫子関宿線～（野田病院）～木戸口～イオンタウン～国道 16 号～市役所。片道 17.3 km、52 分
- 関宿中央TM～イオンタウン間は全バス停に停車
- 国道 16 号にはバス停を設けず、市役所に急行
- 平日 10 便、土日祝日は 8 便

北ルート関宿（七光台経由）<赤>

- A案に同じ。
- 平日 13 便、土日祝日は 11 便

新北ルート<紫>

- 新北ルートの関宿地域と現行中ルートの国道 16 号西側ルートを融合
- いちいのホール～立山入口～県道我孫子関宿線～関宿高入口～関宿総合公園～関宿滑空場入口～江戸川左岸道路～尾崎小前～川間駅南口～イオンタウン～北部幼稚園前～県道結城野田線～吉春上～清水公園駅東口～市役所。片道 23.2 km、75 分
- 平日 8 便、土日祝日は 6 便

北ルート循環<黄緑>

- 野田地域について、現行北ルートと新北ルートを融合
- 市役所～上町～櫛のホール～都市計画道路山崎吉春線～桜の里 2 丁目～七光台駅～川間駅南口～プラタナス通り～岩名中前～総合公園～清水公園駅～清水中～愛宕駅～市役所。1 周 17.0 km、57 分

- 車両2台で運行
- 平日18便、土日祝日は16便

中ルート堤台<グレー>

- 野田地域において、現行北ルート（堤台経由）と現行中ルートを融合
- 小山～田端～イオンタウン～川間駅南口～プラタナス通り～都市計画道路山崎吉春線～櫛のホール～愛宕駅～市役所。片道14.5km、47分
- 平日12便、土日祝日は8便

中ルート堆肥センター・大利根温泉<ピンク>

- 現行中ルートと新南ルートを融合
- 堆肥センター入口～県道我孫子関宿線～目吹二ツ塚～東部小前～野田特別支援学校前～小張病院前～国道16号～市役所～野田市駅～木野崎入口～下鹿野～福田保育所入口～スポーツ公園～大利根温泉。片道21.2km、68分
- 平日8便、土日祝日は6便

南ルート右<青>

- 現行南ルートを基に、桜木神社入口～上花輪太子前間のジグザグ運行を是正。梅郷駅から流山街道を直進し、長命寺前方面へ運行。1周21.7km、72分
- 平日8便、土日祝日は6便

南ルート左<青>

- 上記南ルート右の逆回り。1周21.7km、72分
- 平日8便、土日祝日は6便

新南ルート西新田折り返し<こげ茶、こげ茶（白抜き）>

- 現行南ルートを細分化し、桜木神社入口～上花輪太子前間のジグザグ運行区間をカバー
- 市役所～旧日光街道～中根八幡公園～流山街道～桜木神社入口～旧日光街道～梅郷駅～都市計画道路梅郷西駅前線～みずき4丁目公園～西新田自治会館前～流山街道～梅郷駅～旧日光街道～桜木神社入口～流山街道～中根八幡公園～旧日光街道～市役所。片道10.4km、23分
- 下記新南ルート今上と本ルートを車両1台で対応
- 平日8便、土日祝日は6便

新南ルート今上<こげ茶>

- 現行新南ルート（今上方面）と南ルートの国道16号の西側ルートを融合した循環ルートとし、桜木神社入口～上花輪太子前間のジグザグ運行区間をカバー
- 市役所～愛宕駅～辻前～櫛のホール～琴平通り入口～今上地域～都市計

画道路山崎吉春線～みずき4丁目公園～西新田自治会館前～梅郷駅～旧日光街道～桜木神社入口～流山街道～中根八幡公園～旧日光街道～市役所。1周 17.3 km、57分

- 上記新南ルート西新田折り返しと本ルートを車両1台で対応
- 平日4便、土日祝日は3便

②B案の特長

- 全ルート土日祝日も運行することにより、利便性を向上
- 関宿城ルートは、観光客も意識して増便しつつ、全便を関宿城博物館まで運行
- 急行便を設定し、いちいのホールから市役所までの所要時間を短縮
- 各ルート、イオンタウン、川間駅南口への乗り入れを充実させ、買物や通院、電車の利用者の利便性を向上
- 特に、イオンタウンには、新たに関宿岡田地区や野田東金野井地区方面からのアクセスを確保し、当該地区の利便性を一層向上
- 中ルート堤台については、小山からの川間駅へのアクセスを新たに確保しつつ、小山～イオンタウン間は、3便→12便と大幅増便
- 中ルート堆肥センター・大利根温泉は、効率化を図りつつ、地域に見合った便数を確保
- 南ルート右・左については、平成やよい通りと二中前通りのジグザグ運行をしないルートを設定し、目的地までの所要時間を短縮
- 一方で、現行南ルートと新南ルートを融合した新南ルート西新田折り返しと新南ルート今上を設定し、1台の車両で対応することにより、効率化を図りつつ、地域に見合った便数を確保。さらに、ジグザグ運行ルートにも対応しつつ、回り方を見直すことにより、目的地までの所要時間を短縮
- ノア、いなげや、梅郷駅へのアクセスを充実させることにより、買物や通院、電車の利用者の利便性を向上

③B案の懸念事項等

- 関宿地域について、現行北ルートの現在の利用状況を見ると、川間駅への利用者が多いところ、B案では、下羽貫（関宿）～木戸口（野田）間からの川間駅へのアクセスが悪化する（26便→13便：13便の減便）。
- 現行ルートとの比較において、廃止した区間、減便した区間についての考え方は、別添資料 1-3 のとおり。

4) 計画B 2案<図4>

①各ルートの概要

全体

B案を基に、

- ・北ルート循環を車両1台で対応する一方、関宿中央TM～市役所間を結ぶ北ルート清水・谷津（現行の北ルート清水経由）を設定
- ・全12ルート、平日108便、土日祝日81便
- ・年間運行距離数 621,354 km
- ・(経費見込み額)130,445 千円－(収入見込み額)26,517 千円～39,550 千円＝(市支出見込み額) 90,895 千円～103,929 千円<いずれの額も税抜額>

関宿城ルート<緑>

- ・B案に同じ。
- ・便数は平日12便、土日祝日8便

急行ルート<茶>

- ・B案に同じ。
- ・便数は平日10便、土日祝日8便

北ルート関宿（七光台経由）<グレー>

- ・B案に同じ。
- ・便数は平日13便、土日祝日11便

新北ルート<紫>

- ・B案に同じ。
- ・便数は平日8便、土日祝日6便

北ルート清水・谷津<青>

- ・現行の北ルート清水経由を設定
- ・関宿中央TM～いちいのホール～向ノ内～県道我孫子関宿線～（野田病院）～谷津～川間駅南口～プラタナス通り～岩名中前～総合公園～清水公園駅～清水中～愛宕駅～市役所。片道20.7 km、69分
- ・平日8便、土日祝日は6便

北ルート循環<黄緑>

- ・B案に同じ。ただし、運行車両を1台にしたことから、便数は減
- ・便数は平日9便、土日祝日7便

中ルート堤台<赤>

- ・B案に同じ。
- ・便数は平日12便、土日祝日8便

中ルート堆肥センター・大利根温泉<ピンク>

- ・ B案に同じ。
- ・ 平日8便、土日祝日は6便

南ルート右<青>

- ・ B案に同じ。
- ・ 平日8便、土日祝日は6便

南ルート左<青>

- ・ B案に同じ。
- ・ 平日8便、土日祝日は6便

新南ルート西新田折り返し<こげ茶、こげ茶（白抜き）>

- ・ B案に同じ。
- ・ 平日8便、土日祝日は6便

新南ルート今上<こげ茶>

- ・ B案に同じ。
- ・ 平日4便、土日祝日は3便

② B2案の特長

B案に加え、

- ・ 北ルート清水・谷津を設定することにより、B案の下羽貫（関宿）～木戸口（野田）間からの川間駅へのアクセスの悪化を相当程度緩和（B案：26便→13便、△13便　B2案：26便→21便、△5便　8便改善）
- ・ 北ルート循環の対応車両が1台となるが、北ルート清水・谷津の設定により、清水八幡神社前～清水公園駅～川間駅間は現行の17便を確保

③ B2案の懸念事項等

- ・ B案に比して北部・関宿地域の利便性に配慮したものの、下羽貫（関宿）～木戸口（野田）間からの川間駅へのアクセスは、現行26便が見直し後21便と、5便の減便となっており懸念の解消には至っていない。
- ・ また、櫛のホール周辺の便数が更に減便となる。
- ・ しかしながら、これらの地域は、減便とはなるものの21～48便が運行することから、相当程度の利便性は確保されていると考える。
- ・ その他、減便した区間についての考え方は、別添資料1-4のとおり。

A案

○廃止されるバス停（ルート）

現ルート名	バス停（ルート）	廃止理由
中	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乳児保育所入口 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周辺住民が利用可能な他ルートのバス停があり、利便性は確保されること。 ・ ルートの利便性を考慮し、公共施設（櫛のホール）を通るルートとしたこと。
中	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小山 ・ 小船橋水辺公園 ・ 船形駐在所 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当該区間は、通過経路から飛び出した往復経路（往復約3km）でありながら、利用者のいない日が連続40日以上となることがあるなど、利用者が極端に少ないこと。 ・ このような状況で25人乗りのバスを常時運行させることは、極めて効率が悪いこと。 ・ 地域性や道路条件を考慮すると、当該区間を含む利根川沿いの地域については、必要の都度運行する福祉タクシー等による対応の方が即していると思われること。
中	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上中山 ・ 目吹高根 ・ 木野崎高根 ・ 木野崎病院入口 ・ 下屋敷 ・ 鹿野自治会館入口 ・ 斎場前 ・ 北大山 ・ 目吹二ツ塚 ・ 前耕地 ・ 1部消防団前 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当該地区付近の住宅の張り付き具合や運行経路を勘案すると、東部小前バス停から目吹前口道路を経由して我孫子関宿線に接続する経路の方が、現行経路に比して直線的であり、効率的であると思われること。 ・ 上記のとおり、現行経路は斎場前等をカバーするため、遠回りする経路となっているが、住宅の張り付きもそれほどなく、利用者も少ない。 ・ これらの地域についても、小山地区同様福祉タクシー等による対応の方が即していると思われること。
中	<ul style="list-style-type: none"> ・ 七光台南 ・ 北部中前 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周辺住民が利用可能な他ルートのバス停があり、利便性は確保されること。

現ルート名	バス停（ルート）	廃止理由
南ルート	・花井ポンプ場前	・新ルート上にバス停を移設して対応可能であること。

○減便されるバス停

現ルート名	バス停（ルート）	減便理由（懸念事項）
関宿城 新北	・白山神社入口 ・立山入口	・16便→12便 △4便 ・周辺住民が利用可能な他ルートのバス停があり、利便性は確保されること。
北	・砂南 ・志部前堀 ・下根 ・大山 ・ウェルフェア前 ・阿部 ・葵の園前 （・野田病院） ・木戸口	・26便→23便 △3便 （・イオンタウンへの乗り入れ便は1便増となっているが、 <u>当該地域の利用実態を見ると、川間駅までの利用が多い。</u> ） （・ <u>川間駅への便数は13便減</u> となり、利便性低下は否めない。⇒ <u>関宿地域からの直行便を老人福祉センターまでの運行とし、川間駅からイオンタウン経由関宿中央TMまでのバスを1台追加すれば、課題は解消する。</u> ）
北 新北	・下羽貫 ・鴻ノ巣 ・向ノ内 ・向ノ内鹿島神社入口	・26便→25便 △1便 ・トータル25便が運行するので、利便性は確保されると思われること。
北	・谷津 ・七光台団地入口 ・七光台	・17便→13便 △4便 ・周辺住民が利用可能な他ルートのバス停及び路線バスがあり、利便性は確保されること。
北	・南通り ・中央公園 ・プラタナス通り ・第五公園 ・岩名中前 ・岩名香取前	・26便→23便 △3便 ・全便がイオンタウンに乗り入れており、買物や通院等の利便性は向上すること（イオンタウン乗り入れ便数9便→23便）。 ・トータル23便が運行するので、利便性は確保されると思われること。

現ルート名	バス停（ルート）	減便理由（懸念事項）
北	<ul style="list-style-type: none"> ・自由大広場 ・総合公園 ・野田貝塚 ・清水公園駅 ・清水郵便局前 ・清水中 ・旧さくら並木入口 ・清水八幡神社前 	<ul style="list-style-type: none"> ・17便→14便 △3便 ・全便がイオンタウンに乗り入れており、買物や通院等の利便性は向上すること（イオンタウン乗り入れ便数0便→14便）。
北 新北 中	<ul style="list-style-type: none"> ・中野台鹿島町 ・中野台入口 ・中野台鹿島神社前 	<ul style="list-style-type: none"> 24便⇒18便 △6便 ・連なって運行するルートを見直し効率の良いルート設定としたこと。 ・トータル18便が運行するので、利便性は確保されると思われること。
北 新北 中 南 新南	<ul style="list-style-type: none"> ・櫛のホール ・中野台 	<ul style="list-style-type: none"> 61便⇒39便 △22便 ・連なって運行するルートを見直し効率の良いルート設定としたこと。 ・トータル39便が運行するので、利便性は確保されると思われること。
北 南 新南	<ul style="list-style-type: none"> ・辻前 	<ul style="list-style-type: none"> 37便⇒21便（△16便） ・連なって運行するルートを見直し効率の良いルート設定としたこと。 ・周辺住民が利用可能な他ルートのバス停があり、利便性は確保されること。
中 南 新南	<ul style="list-style-type: none"> ・仲町 	<ul style="list-style-type: none"> ・28便→16便 △12便 ・周辺住民が利用可能な他ルートのバス停があり、利便性は確保されること。
南 新南	<ul style="list-style-type: none"> ・キッコーマン前 ・新下町 ・長命寺前 	<ul style="list-style-type: none"> ・20便→16便 △4便 ・新南ルートの経由便を廃止したことが減便となっているが、二中前通りと平成やよい通りのジグザグ運行を見直し、流山街道を直進するルートとしたことで、目的地までの所要時間が短縮され、利便性が向上すること。 ・トータル16便が運行するので、利便性は確保されると思われること。

現ルート名	バス停（ルート）	減便理由（懸念事項）
南	<ul style="list-style-type: none"> • 上花輪太子前 • 桜台 • 二中前 • 中根八幡公園 	<ul style="list-style-type: none"> • 16便→12便 △4便 • 南ルートのジグザグ運行を見直し、効率の良いルート設定としたこと。 • 二中前通りと平成やよい通りのジグザグ運行の回り方を見直したことにより、例えば、中根八幡公園からノア前までの所要時間は20分程度短縮されるなど、利便性が向上すること。
南 新南	<ul style="list-style-type: none"> • 桜木神社入口 • 花井 	<ul style="list-style-type: none"> • 20便→12便 △8便 • 新南ルートの経由便を廃止したことなどから減便となっているが、二中前通りと平成やよい通りのジグザグ運行の回り方を見直し、例えば、花井からノア前までの所要時間は16分程度短縮されるなど、利便性が向上すること。
南	<ul style="list-style-type: none"> • 白鳥の池入口 • 下三ヶ尾稲荷神社前 • 下三ヶ尾自治会館前 • 大六天前 • 聖華保育園入口 • 芽吹学園入口 • 福二小入口 • しらさぎ通り入口 	<ul style="list-style-type: none"> • 16便→7便 △9便 • 当該地域は、運行便数に比して利用者が少なく、利用に見合った運行便数であると思われること。

A2 案

※急行便を老人福祉センターまで延伸するとともに、北ルート関宿（イオンタウン経由）を設定した場合の影響

現ルート名	バス停（ルート）	減便理由（懸念事項）
南	<ul style="list-style-type: none"> 老人福祉センター 	<ul style="list-style-type: none"> 16 便→15 便 △1 便 周辺住民が利用可能な路線バスがあり、利便性は確保されること。
南 新南	<ul style="list-style-type: none"> 大殿井 紫ゴルフ場入口 さわやかワークのだ 新中根 	<ul style="list-style-type: none"> 24 便→17 便 △7 便 トータルで 17 便が運行するので、利便性は確保されると思われること。
南	<ul style="list-style-type: none"> みどり橋 電建第一住宅 	<ul style="list-style-type: none"> 16 便→8 便 △8 便 近接地に周辺住民が利用可能なバス停があり、利便性は確保されること。
南	<ul style="list-style-type: none"> 野田梅郷住宅入口 二ツ塚 二ツ塚小前 梅郷5号公園 ソニックセンター前 梅郷8号公園 野田梅郷住宅 梅郷 11 号公園 	<ul style="list-style-type: none"> 16 便→8 便 △8 便 周辺住民が利用可能な路線バスがあり、利便性は確保されること。
南 中 新南	<ul style="list-style-type: none"> 中央の杜 宮崎団地前 	<ul style="list-style-type: none"> 32 便⇒27 便（△5 便） トータルで 27 便が運行するので、利便性は確保されると思われること。

B案

○廃止されるバス停（ルート）

現ルート名	バス停（ルート）	廃止理由
中	・乳児保育所入口	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺住民が利用可能な他ルートのバス停があり、利便性は確保されること。 ・ルートの利便性を考慮し、公共施設（櫛のホール）を通るルートとしたこと。
中	・富蔵院	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺住民が利用可能なバス停があり、利便性は確保されること。 ・北側の富蔵院駐車場付近へバス停移設により利便性を図るため。
中	<ul style="list-style-type: none"> ・目吹高根 ・木野崎高根 ・木野崎病院入口 ・下屋敷 ・鹿野自治会館入口 ・斎場前 ・北大山 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺住民が利用可能なバス停があり、利便性は確保されること。 ・周辺住民への影響を抑えながら、ルートの短縮を図ることができること。
中	<ul style="list-style-type: none"> ・七光台南 ・北部中前 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺住民が利用可能な他ルートのバス停があり、利便性は確保されること。 ・隣接しているイオンタウンバス停の利便性の向上を図るため。
南	・花井ポンプ場前	<ul style="list-style-type: none"> ・新ルート上にバス停を移設して対応可能であること。
新南	・里区自治会館入口	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺住民が利用可能な他ルートのバス停があり、利便性は確保されること。 ・新たなルート（道路）設定による。

○減便されるバス停

現ルート名	バス停（ルート）	減便理由（懸念事項）
北	<ul style="list-style-type: none"> ・谷津 ・七光台団地入口 ・七光台 	<p>17便⇒13便（△4便）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺住民が利用可能な他ルートのバス停及び路線バスがあり、利便性は確保されること。

現ルート名	バス停（ルート）	減便理由（懸念事項）
北	<ul style="list-style-type: none"> ・下羽貫 ・鴻ノ巣 ・向ノ内 ・向ノ内鹿島神社入口 ・砂南 ・志部前堀 ・下根 ・大山 ・ウェルフェア前 ・阿部 ・葵の園前 （・野田病院） ・木戸口 	<p>26便⇒23便（△3便）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イオンタウンへの乗り入れ便は1便増となっているが、<u>当該地域の利用実態を見ると、川間駅までの利用が多い。</u> ・<u>川間駅への便数は13便減</u>となっており、利便性低下は否めない。⇒当該利便性の低下については、<u>B2案を採用することにより、相当程度緩和される。</u>
北 新北 中 南 新南	<ul style="list-style-type: none"> ・櫛のホール ・中野台 	<p>61便⇒56便（△5便）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連なって運行するルートを見直し効率の良いルート設定としたこと。 ・トータル56便が運行するので、利便性は確保されると思われること。
北 南 新南	<ul style="list-style-type: none"> ・辻前 	<p>37便⇒20便（△17便）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連なって運行するルートを見直し効率の良いルート設定としたこと。 ・周辺住民が利用可能な他ルートのバス停があり、利便性は確保されること。
北 新北 中 新南	<ul style="list-style-type: none"> ・上町 	<p>46便⇒30便（△16便）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連なって運行するルートを見直し効率の良いルート設定としたこと。 ・周辺住民が利用可能な他ルートのバス停があり、利便性は確保されること。
新南 中	<ul style="list-style-type: none"> ・琴平通り入口 	<p>11便⇒4便（△7便）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連なって運行するルートを見直し効率の良いルート設定としたこと。 ・周辺住民が利用可能な他ルートのバス停があり、利便性は確保されること。

現ルート名	バス停（ルート）	減便理由（懸念事項）
中 南 新南	<ul style="list-style-type: none"> 仲町 	28便⇒16便（△12便） <ul style="list-style-type: none"> 連なって運行するルートを見直し効率の良いルート設定としたこと。 周辺住民が利用可能な他ルートのバス停があり、利便性は確保されること。
南 新南	<ul style="list-style-type: none"> キッコーマン前 新下町 長命寺前 	20便⇒16便（△4便） <ul style="list-style-type: none"> 新南ルートの経由便を廃止したことが減便となっているが、二中前通りと平成やよい通りのジグザグ運行を見直し、流山街道を直進するルートとしたことで、目的地までの所要時間が短縮され、利便性が向上すること。 トータル16便が運行するので、利便性は確保されると思われること。
南	<ul style="list-style-type: none"> 上花輪太子前 桜台 二中前 中根八幡公園 	16便⇒12便（△4便） <ul style="list-style-type: none"> 南ルートのジグザグ運行を見直し、効率の良いルート設定としたこと。 二中前通りと平成やよい通りのジグザグ運行の回り方を見直し、例えば、花井からノア前までの所要時間は16分程度短縮されるなど、利便性が向上すること。
南 新南	<ul style="list-style-type: none"> 花井 桜木神社入口 	20便⇒12便（△8便） （上記の理由と同様）

B2 案

※北ルート清水・谷津を設定した場合の影響

現ルート名	バス停（ルート）	減便理由（懸念事項）
北	<ul style="list-style-type: none"> ・下羽貫 ・鴻ノ巣 ・向ノ内 ・向ノ内鹿島神社入口 ・砂南 ・志部前堀 ・下根 ・大山 ・ウェルフェア前 ・阿部 ・葵の園前 （・野田病院） ・木戸口 	<ul style="list-style-type: none"> ・川間駅への便数は5便の減便となっているが、21 便が運行するので、利便性は確保されると思われること。
北 新北 南 新南 中	<ul style="list-style-type: none"> ・櫛のホール ・中野台 	<p>61 便⇒47 便（△14 便）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連なって運行するルートを見直し効率の良いルート設定としたこと。 ・トータル 47 便が運行するので、利便性は確保されると思われること。
北 南 中	<ul style="list-style-type: none"> ・中野台鹿島町 ・中野台入口 ・中野台鹿島神社前 	<p>24 便⇒21 便（△3 便）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連なって運行するルートを見直し効率の良いルート設定としたこと。 ・トータル 22 便が運行するので、利便性は確保されると思われること。
北 新北 中	<ul style="list-style-type: none"> ・上町 	<p>46 便⇒21 便（△25 便）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連なって運行するルートを見直し効率の良いルート設定としたこと。 ・トータル 21 便が運行するので、利便性は確保されると思われること。